

平成19年4月13日

新宿区長

特定非営利活動法人
 法人名 東京山の手まごころサービス
 所在地 東京都新宿区高田馬場1丁目32番地7号
 信ビル301号
 (フリガナ) コニシ ノブヒコ
 代表者氏名 小西 伸彦 印

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	ふれあい・いきいきサロン まごころ「こめこめ倶楽部」
実施日時又は期間	平成18年6月26日から平成19年4月11日 11ヶ月
対象者の範囲及び人数	近隣在住の新宿区民（老若男女不問）を原則として、軽要介護度の高齢区民を中心対象とした。延べ参加人員数 約470人
事業内容	誰でもが、楽しく、気軽に参加できる「居場所づくり」を目的とした、独居高齢者の仲間作り、とじこもり予防、無理なく体を動かす、歌や踊りを楽しみ、軽食・お茶を提供、健康・栄養を意識させる等の行事
具体的な活動状況	ビーズアームバンド作りから始まりADL体操・フラダンス・バリアフリーのx mas party・朗読・お煎茶・お抹茶・指編み・うどん打ち等々多種多彩であった。 詳細は添付「平成18年度こめこめ活動記録」をご参照願います。
事業の成果	下向き勝ちなうつ病高齢者がパッと突然笑み顔となり、急に手を振り上げ、腰を振り、フラダンスを踊り出す姿は感動的であった。 視覚障害者であっても、一旦マイクを持てば好きな歌を楽しく、いくつも歌いたくなるカラオケ風景は矢張り人間は誰しも同じで、健常者であろうと障害者であろうと共に喜び合えるのだとの共感を覚えた。 音楽療法では昔々若い時代に聞き慣れ親しんだ歌が突然出て来てもつい自然に口ずさむことの出来る喜びを90歳過ぎた高齢者が

	<p>顔面笑顔にして唄い、表現する姿は素晴らしかった。</p> <p>ビームアームバンド作り・パッチワーク・絵手紙づくり・手編みなど自分で作り出す喜びを味わい、少し僅かながらも作り上げたという自信が出てきて生き甲斐を感じておられた。</p> <p>「呆けていても自由に少しでも生き甲斐を感じられる場所が見つかり、」特に独居老人、障害者等は「みんなで集まって又楽しもうよ」というMOODが時間の経過する毎に強まりつつある。これが同じ行事を要求する希望ともなって来ている。</p> <p>選ばれた世話人が皆ヘルパーのプロである為か参加者への対応が機敏且つ適宜適切で極めて好評を博した。</p> <p>時間が経過する毎に参加人員が増えている。もっとPRを強化すれば新宿区内にもっともっと広がる。中でも今回のXmas partyは大盛況であった。毎年続けたい。</p> <p>幸いに世話人ばかりではなく、まごころのヘルパーは総じて多芸に秀でており、お茶、お華のみならず、歌、ダンス、劇、料理等の専門家であるか、又はその道に通じておられる先生を容易に見付けやすい環境に在る。且つ何よりも皆がボランティア精神に富んで居られる。そのため多種多彩な行事を開催することが出来たのだと思う。</p> <p>幸いに、社有の福祉自動車を1台所有しており、これを自宅と会場間の何回もの送迎に使用したので、障害者や高齢者で歩行困難な方々でも喜んで自由に参加することが出来た。</p>
--	---

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金	自己資金		422,922 円
	参加費・資料代等	参加費@¥500x7人 = ¥3500 @ ¥300 × 延べ参加人員の中 78人 = ¥23,400(第3回目以降)		26,900 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		300,000 円
	計	749,822 円		
象 支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の	費目	決算額	内 訳	
	会議費	58,700 円	新宿区大久保地域センター（A会議室、B会議室、多目的ホール、調理室）使用料 計10回 ¥16,400（別添明細通り） 世話人打合せ会議計11回 = ¥42,300（別添明細通り）	

宣伝費	117,812 円	松岡あすか&中野潤一チラシイラスト作成費(6~12月、1~3月1回1万円以上計5回¥65,250(別添領収書通り)1回1万円以下8回=計¥42,272(別添明細通り)会議資料カラーコピー代¥10,290(別添領収書通り)
リース費	51,326 円	201号室使用料¥4,666/日(¥140,000÷30日=¥4,666として) ¥4,666×11日間=¥51,326
消耗品費	22,300 円	クリーニング代、イベント用Tシャツ10枚、ハワイアンネックレス、スカーフ、葉書、プラフォーク代2ダース、紙コップ、紙丼、ビーズ、色紙、絵の具、髪飾り等 計¥22,300(別添明細通り)
謝礼	197,700 円	講師謝礼1件当たり1万円以上10件=計¥110,000(添領収書通り) 講師謝礼1件当たり1万円以下5件=¥25,200(別添明細通り) 世話人活動謝礼25件×¥2,500=¥62,500
材料費	58,034 円	食材(茶、菓子、水、氷、ジュース、ペットボトル、飴、餅、調味料等)クッキー、写真フィルム、紙コップ、ビニール袋、洗濯はさみ、絵手紙教材等)計58,034(別添明細通り)
交通費	123,560 円	講師・世話人交通費 40件=¥39,560(別添明細通り) 福祉自動車送迎料@¥1,000/30分×90分×2(往復)×14回=¥84,000
その他諸経費	80,390 円	郵便代@¥80×40人×16回=¥51,200 名入り封筒3000枚×@¥8.75=¥26,250 宅急便3件¥2,940
助成対象事業費(小計)	709,822 円	
余 剰 金	0 円	
助成対象外事業費	40,000 円	デジタルカメラ¥40,000
事 業 総 額		749,822 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	この事業は、「地域密着」を重要課題とした、まごころサービスが在宅介護の新宿区に於ける20年の経験を生かして地域福祉活動に貢献する事を目的で取り組んだ結果、「こめこめ倶楽部」が掲げた初年度の目標は十分成果を上げることが出来た。

<p>地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。</p>	<p>自宅に閉じ籠りがちなお年寄り、障害者の方々に「こめこめ倶楽部」に参加する事によって参加者同志の心の触れ合いと世代間の交流が出来、特に一人住まいの高齢者に生きる喜びが出て来たことが判った。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 月ごとにリピートの利用者が増加 * グループホーム・デイサービスからの利用者が増加。 * 障害者（車いす利用者）の参加が増加。 <p>今後見込まれる効果 戸山団地を含む独居高齢者の多い地域での出前「こめこめ倶楽部」による心のケアを主眼としたプログラムの実施による効果が期待される。</p>
<p>新たに気づいた課題は何か。</p>	<p>参加希望者の会場までの足の確保。 民生委員、介護相談員などの協力で日中独居の方へ参加働きかけ。 元気な高齢者のボランティア協力を得ること。 参加者数に拘らず、笑顔が溢れる利用者を増やすこと。</p>
<p>理解者や支援者が広がったか。</p>	<p>新宿区社会福祉協議会の全面協力が得られた事。 戸塚地区福祉会議の協力、中央地区のデイサービスの協力、大久保地域センターの理解と支援が得られた事</p>
<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>「こめこめ倶楽部」の世話人会を2年目より発足させ、地元ヘルパー8名に事務局から5名加わり、プログラム、広報、会計、当日のスケジュールまで一貫して運営しているが、まごころサービスヘルパーの関心度に力不足を感じる。</p>
<p>今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。</p>	<p>1年間の「こめこめ倶楽部」の活動を通して、介護保険制度では満たせない高齢者の孤独感、疎外された人間関係など、こころの交流が如何に重要かが浮き彫りになった。 まごころサービスは、今後新たな事業として、戸塚地区の空き店舗、空家を確保して高齢者、障害者が常時利用できる「ふれあいサロン、こめこめ倶楽部」を開設し、まごころサービスのベテランヘルパー（80名）が交代でボランティアとして参加できる体制が出来ればと考える。</p>
<p>その他</p>	

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。

【参加者の意見】

- 「利用者の参加が未だ少ない。でも参加した人達の楽しい表情を見るとやってよかったと思う。」
- 「世話人は善意のボランティアに依存せざるを得ないが、無償では長続きしない。事務局からの参加者が少ない。」
- 「やればやれるんだとの思いがします。やったら楽しい。」
- 「ふれあいサロン” 的で【癒しの場】になると思います。」
- 「この種の会は継続することが肝心。又デイサービスの下地ともなり得る。」
- 「第1回目の行事をMさんとしたが、時間は十分に有った。ビーズのゴム紐が伸びてしまっていて困った。あれだけの材料を個人では取り揃えられない。血圧計・体温計が買って準備してあったのは良かった。」
- 「包丁も使わず、火も使わず、電子レンジのみで、お年寄り用料理を作って差し上げる。食べ乍らの、お喋り会なんかも楽しいと思う。1年間のローテーションを組んで、色んなお食事を開催して行くのも特に独居高齢者には喜ばれるかも知れない」
- 「まごころの組織全体でこめこめ倶楽部を取り組み、ヘルパーの皆さんが知って、関心を持ち、色んな知識、経験、技能等を注ぎ込んで行くことが良いのではないかと思う」
- 「やるからには厳しく、長続きする、キッチリやり通せる体制・組織・予算化が必要では無いか」
- 「201号室は出発点として良かったが「癒しの時間」が大久保地域センターで大きく広がって来た。真新しい企画で無くてとも、同じ事を繰り返す事で、どんどん人が集まる。カラオケもREPEATしたら良い。PIANO演奏会もXmasパーティーで楽しかったが、XmasでなくともPIANO演奏会を繰り返したらどんどん高齢者が集まる」
- 「まごころとダンスを結びつける事が出来た。かなりのまごころのIMAGECHANGEがあったように思う。同じ事を続けて行けば、どんどん集まる」。
- 「まごころも20年の歴史を重ねることが出来、やっと本当の意味の【地域貢献】が出来る芽が出て来た様な気がします。そして居場所作りの楽しさも判って来たし、大、中、小をも織り交ぜた楽しいデイサービスとの地域隣接的業務提携も出来るように成るかも知れない。」